

年度 / 日程	令和8年度入試 / A日程
研究科名 / 課程	保健看護学研究科 / 博士前期課程
試験科目	専門科目 (がん看護学)
実施日	令和7年8月29日

【 出題意図 】

1. がんサバイバーが経験する社会的問題について理解することは、療養生活の質向上を目指すうえで重要である。この設問では、がん看護専門職としての政策への関心と認知を問い、自身の考えを論理的に記述する力を評価している。
2. がん医療の急速な発展に的確に対応するには、最先端医療における課題を理解することは不可欠である。この設問では、がんゲノム医療に焦点をあて、主な課題と看護実践について、自身の考えを論理的に記述する力を評価している。
3. つらい治療を乗り越えてきたがん患者の心情は計り知れず、治療方針の変更は容易には受け入れ難いことが推測される。この設問では、治療を終えたがん患者の心理的側面の理解と見放されたと感じている患者に寄り添う看護実践について、自身の考えを論理的に記述する力を評価している。
4. 自分らしい人生の最期を考えるうえで、人生の最終段階における医療・ケアの方針を家族や医療者と話し合うことが推奨されている。この設問では、アドバンス・ケア・プランニングに関する各々の医療機関の課題と解決策について、自身の所属機関の課題を踏まえた考えを論理的に記述する力を評価している。